

令和7年度 当初予算案の概要 (抜粋)



令和7年度の 主な取組

子育てしやすいまちづくり

～社会を生きぬくたくましいこどもの育成～

区分	主な取組内容	事業費 (千円)
経済的負担の軽減	多子世帯のこどものカウント方法変更による0～2歳保育料負担軽減、病児保育の無償化、奨学金の拡充 など	181,683
子育て・教育環境の整備	5歳児健診（相談）、お昼寝用簡易ベッドの試験導入、保育士向け独自補助の創設、水泳指導業務委託、不登校対策の拡充 など	465,629
共働き・共育での推進	男性育児休業取得促進奨励金 男性の子の看護等休暇制度導入奨励金 など	7,000
こども・子育てに優しい社会づくり	「はつかいち子育て応援宣言企業」登録制度の創設（ステッカー印刷費、宣伝費 など）	600
こども等の施策への意見反映、ニーズ調査	こども計画策定	5,000
その他こども・教育に資する取組	マスタートーン青少年派遣 など	8,236

総額 6億6,814万8千円

子育て世代の経済的負担の軽減

0歳児から2歳児の保育料の負担軽減



1,462万円

※歳入減による影響額

0～2歳児の保育料について、保育料算定時に多子世帯のこどもをカウントする際の「年齢制限」と「保育施設利用要件」を廃止します。これまではカウントされなかった小学生以上のこどもをカウントに含めることにより、多子世帯の負担を軽減します。

	就学前			小学生以上
	 第4子	 第3子	 第2子	 第1子
現行	無償 第3子としてカウント	半額負担 第2子としてカウント	半額負担 第1子としてカウント	小学生以上は カウント対象外
令和7年度 から	無償 第4子としてカウント	無償 第3子としてカウント	半額負担 第2子としてカウント	第1子 としてカウント

【歳入】影響額

- 保育園使用料 634万円
- 保育園保護者負担金 828万円

奨学金貸付制度の拡充



5,898万円

将来の社会の創り手となる人達が希望に沿って安心して就学できるよう、制度の見直しを行います。

- ①貸付月額の増額
- ②他制度と併用可能に変更
- ③返還期間を10年以内から15年以内へ延長
- ④家計基準の見直し

奨学金貸付事業

- 貸付金（制度拡充分） 5,184万円
- ※ 貸付金総額 5,832万円
- その他手数料 66万円

病児保育の利用を無償化



2,231万8千円

働く保護者が安心して子育てをできるよう、病児保育室を利用する際の年間登録料及び利用料を、令和7年4月から無償化します。

病児・病後児保育事業

- 病児・病後児保育事業委託料 2,231万8千円

「共働き・共育て」を推進

男性の育児休業の取得の促進



660万円

市内企業で働く男性従業員が育児休業や子の看護等休暇を利用した場合に、企業に対し奨励金を支給します。企業、地域、住民が一体となって、オールはつかいちでこども・子育て世代を応援し、「子育て世代に選ばれ続けるまち」づくりに取り組みます。

商工業振興事業

- 男性育児休業取得促進奨励金 500万円
- 男性の子の看護等休暇制度導入奨励金 100万円

産業まちづくり事業

- はつかいち子育て応援宣言企業登録事業 60万円
(ステッカー印刷費、宣伝費など)



令和6年10月、市と市内産業経済団体で『「こどもが主役のまちはつかいち宣言」事業実施に関する連携協定』を締結

子育て環境の整備

「ほいくの未来応援補助金」の創設



2,895万円

私立認可保育施設に勤務する職員の新規採用・就業継続・離職防止に向け、令和7年度から新たな補助制度を創設します。

- ①新規採用の常勤保育士に一時金を支給します。
- ②継続して勤務する常勤職員に奨励金を支給します。
- ③保育補助者の保育士資格取得の経費を補助します。
- ④施設独自の事業や研修について補助を行います。

私立保育園運営事業

- ほいくの未来応援補助金（新規採用・継続者向け支援） 2,620万円
- 保育士資格取得支援補助金 25万円
- まちぐるみ子育て支援補助金 250万円



子育て支援サイトの開設



613万6千円

「こどもが主役のまち はつかいち宣言」に基づく本市のこども施策を幅広く周知するため、子育てしやすいまちの魅力発信につながる子育て支援サイトを開設します。

サイト内では、子育て期ごとの情報検索や子育てを支援する保育士等の求人情報など、子育てに関する様々な視点からの情報を掲載し、「子育て世代に選ばれ続けるまち」の推進を図ります。

保育園管理運営事業

- 子育て支援ホームページ作成等業務委託料 613万6千円

ロゴマークを作成しました！



こどもが主役のまち

はつかいち

「こどもが主役のまちはつかいち宣言」に基づく子育て支援施策を広く周知するためのシンボルとして、ロゴマークを作成しました。
市の木であるさくらをモチーフに、主役であるこどもを真ん中にオールはつかいちで柔らかく包み込んでいます。

主役なのでちょっと照れくさそう...



『保護者』

慈しむ『心』と、温かく見守る日向のような

『オレンジ』



『地域』

地域をまるっと囲む『丸』と、多様な人々・多様性の

『紫』



『企業』

そろばんの珠の『ひし形』と、商い＝地域を潤すの

『きいろ』



『自治体』

欠けたり偏ったりしない『円』と、公平・平等の

『みどり』



『保育園・幼稚園・学校』

本の『四角』と、知恵・学びの

『あお』

国の目指す「こどもまんなか社会」の実現、市の「こどもが主役のまちをつかいち」宣言の具体化に向けた指針とするため、「廿日市市こども計画（仮称）」を策定します。

児童福祉一般事業
こども計画策定業務委託料 500万円



あかちゃんオムツプレゼント事業 **NEW**

662万1千円

令和7年10月から、生後3か月、6か月、9か月、満1歳の計4回、産前産後サポートセンターなどでイベントと子育て相談を開催し、おむつ（2,000円相当）をプレゼントします。

母子保健事業

- 報酬など 385万7千円
- 事務費（消耗品費 外） 276万4千円

5歳児健康診査（相談） **NEW**

988万4千円

5歳児に対して健診（相談）を行います。こどもの特性を早期に発見し、特性に合わせた適切な支援や、生活習慣、その他育児に関する相談に応じます。

母子保健事業

- 報酬など 883万2千円
- 事務費 105万2千円

児童会のICT化を推進 **NEW**

743万7千円

留守家庭児童会にICTシステムを導入し、欠席など児童の登下会に関わる作業や保護者連絡をオンライン化することで、保護者負担及び放課後児童支援員の業務負担を軽減します。

児童会管理運営事業

- 機器利用料など 743万7千円

紙おむつ用ゴミ箱 **NEW**

47万6千円

乳幼児の保護者が多く来所される子育て支援施設に、衛生面に配慮した紙おむつ用ゴミ箱を試行的に設置します。

児童福祉一般事業

- 使用料および賃借料 47万6千円

保育園利用者への各種支援 **NEW**

2,344万6千円

- お昼寝用簡易ベッドの試験導入
 - 防犯カメラ設置及びトイレ洋式化など
 - おむつサブスクリプションサービスの導入
- ※ 上記すべて公立保育園における取組

保育園管理運営事業

- お昼寝用簡易ベッド購入費 438万9千円
- 防犯カメラ設置工事など 1,905万7千円



留守家庭児童会の様子



教育環境の整備

給食費負担の軽減

7,496万5千円

物価高騰に伴う給食費の負担増加を軽減するため、小・中学校の給食費に対し支援を行います。

学校給食管理運営事業

- 学校給食費負担軽減事業負担金 7,496万5千円

体育館へのWi-Fi整備

395万2千円

タブレットを使った授業ができる環境を整備するため、Wi-Fi未設置の小・中学校体育館への、Wi-Fi設置に向けた設計を行います。

小・中学校ICT活用教育推進事業

- 体育館新教育系無線アクセスポイント設計業務委託料 395万2千円

体育館への空調整備の検討

2,000万円

学校の教育環境及び災害時の避難所における生活環境の充実を図るため、小・中学校体育館への空調設備整備に向けた調査検討を行います。

小・中学校リニューアル事業

- 屋内運動場空調設備整備調査検討業務委託料 2,000万円

休日部活動地域移行モデル

869万8千円

生徒がスポーツ、文化芸術活動に取り組むことができる環境の整備及び教員の働き方改革の推進を図るため、中学校における休日部活動地域移行モデル事業を引き続き実施するとともに、将来的な地域展開に向けた連携体制の検討を行います。

学校教育振興一般事業

【地域連携型】

- 指導者報酬など 297万9千円

【地域移行型】

- 地域クラブ活動委託料など 296万9千円
- 地域への移行・連携体制の検討 275万円

安全で効果的な水泳授業

3,130万9千円

児童生徒の泳力の向上及び教員の働き方改革の推進を図るため、小・中学校における水泳指導の業務委託の実施校を追加し、民間事業者の施設・ノウハウを活用した水泳授業を実施します。

小・中学校教育振興一般事業

- 小学校水泳指導業務委託料 2,756万6千円
- 中学校水泳指導業務委託料 374万3千円